発行：NPO 法人流山市国際交流協会
〒270-0111 流山市江戸川台東 1-4 3F
国際理解サポートセンター内
☎：04-7128-6007
Email:nifa-support@bz04.plala.or.jp
http/nifa-home.sakura.ne.jp/

NPO 法人流山市国際交流協会

NIFANEWS

日本語を正しく理解してもらう創意工夫が長年の活動の中に生きています
～日本語講座事業部特集～

NIFA で日本語を学んでいる外国の方は、難しさに苦労しながらも、生活習慣や考え方まで理解しようと努力しています

- ✧ 毎週水曜日の午前、中央公民館の一室は日本語教室になります。
- ✧ 様々な国、滞在歴、目的を持った外国の方が学びに訪れます。
- ✧ 講師との少人数の授業は、互いの信頼関係を生み出し、それがまた授業を継続させる相乗効果にもなっています。
- ✧ ここはまた、異文化交流の場でもあります。
- ✧ 受講生の中から三人の方に話しをお聞きしました。

Q1. NIFA で日本語を学んでよかったと思うこと（勉強以外で）

L1.　20 年も続いたのは教科書の勉強以外のことが大きい。日本が今どうなっているのか知ることができたり、色々な相談ができる。
勉強だけならやめていたかもしれない。

L1.&2. ここは家族みたい。先生は親切で色々相談にのってくれるし、リラックスできる。

L3.　今の仕事は、自分で家でやっているので毎日は出かけない。外国人に会うこともない、ここで外国人に会えるのは楽しい。

Q2. 学ぶ目的（生活の上で必要なのは当然として）

L.3. 友達は日本人、最初の会話はできても深い話しはできない。日本の生活は楽しい。日本の友達と話すときはリラックスできるけれど 100%は理解できていないのでもっとしゃべれれば生活も楽しくなる。だからペラペラになれるように一生懸命勉強している。
現在自分のお客さんは外国人（イギリス）がほとんどだが、日本語ができれば、日本のお客様を増やすことができるし、もっと外でも仕事ができる。日本語で仕事をするには日本語能力試験の 1 級が必要、今年の 12 月に 3 級を受けます。1 年か 2 年で 1 級をとりたいです。

L2. 今も外国人に対して、日本語が厳しい会社がある。だからうまくなりたい。

左から関口 ジイさん（タイ）、ジョエル チャドレイさん（イギリス）、渡辺 さゆりさん（タイ）
インタビューに応じて下さいました

Q3. 日本での暮らし　日本人への印象

L1. 日本人は親切、やさしい。街で困っても教えてくれる。物をなくしてもでてくる。

L3. 日本は安全なので自分の国に帰って大変、イギリスで財布を落としたら戻ってこない。

Q4. 外国人を見たら避けたい、という空気を感じたことは？

L3. 少しある。一緒にいてこちらが何か聞きたいけれど、向こうは聞かれたくないという感じがある。これは多分向こうは英語がしゃべれないから手伝うことができないと思っていてそういう顔になると思う。日本人はすごくやさしい。

Q5. 日本語を学んで感じる難しさは？

L1.L2 漢字が難しい、一つの漢字で色々意味がある。覚えるのが大変。

L3. 家の契約とか、全然読めないし、保険の契約も意味がわからない

L1.L2 助詞が難しい、動詞の変化、未来形とか過去形とかどちらもタイ語にはないし。

L3. 敬語が難しい、どんな状況でどう使うのかわからない。特にお葬式だとかのフォーマルな場所やビジネスでは必要。
居酒屋での言葉ならいいけど、失礼のない言葉を、間違いなく使うのは難しい。

Q6. 自分の国の言葉以外の言葉で相手と話ができると、世界が広がったような気持ちになりますね？

L1.L2 間違いなく広くなります。

L3. そうですね。その国の言葉を話せるとその国の文化を理解することができるし、友達も作りやすくなります。

Q7. 日本語を学ぶ人への助言をお願いします。

L2. 日本語は難しいけど、先ず名詞を覚えるといい。漢字の読み、書きはあとでいい。
ひらがなと文法を覚えるといい。

L1. テレビのアニメ番組、子ども番組を見るといい、勉強になる。

L3. 趣味から入るといいと思います。
例えばサッカーが好きなら日本人のサッカーファンと友達になる。そうすると面白い話がすぐできるし、モチベーションになります。

L1. 間違ってもいいからしゃべること、間違っても相手は理解してくれる。
声を出していうことが大切です。

日本語講座事業部の強みは少人数での授業、色々な相談にも応じることができること

成人向け

発足：1993 年 10 月　北部公民館で月 2 回、日曜日の午後開催
発展：1994 年 5 月　南流山センターでも月 2 回、水曜日開催
統合：2000 年 5 月　今までの 2 か所を統合し、中央公民館で同館との共催で毎週水曜日の午前開催
2014 年「国際理解・日本語支援事業部」から現事業部名に改称
受講者の出身国：アジアが多いが、アフリカ、南北アメリカ、欧米など 34 ヵ国に及びます。
講師の資格：「日本語教師養成講座」の修了者、「日本語教育能力検定試験」、「日本語教師ボランティア養成講座」合格などの資格を有しています。
当事業部の強み：アットホーム、少人数なこと。これにより日常生活での色々な相談にも応じられ、サポートもできます。
保育サービスについてもご相談ください。

学校派遣について

- ✧ 市内の小中学校に通う外国人生徒に日本語を教えています。（学校に講師派遣）
- ✧ 教育委員会から委託された事業です。
- ✧ 2002 年に西初石小学校に派遣されて以来今日まで 107 人に教えてきました。
- ✧ アジアからの生徒が多い一方、欧米、中南米からの生徒も学んでいます。
- ✧ 1 人 1 年 20 回（40 時間）が基本ですが、進級しても続ける生徒も大勢います。

授業で講師が大切にしていること：

言語は、考え、感情、意志などを相手に伝える手段であり、使っている人々の文化と深くかかわってくることです。したがって、日本語（言葉や表現）を教えるに当たっては授業の中で　日本人の物の考え方や生活習慣などを学習者に話し、どんな時にどのように使われるか、どんな時には使ってはいけないか（誤解を招くか）等をきちんと伝えることが大切になってきます。

インタビュー NIFA の人

上柿　槇子さん(日本語講座事業部)

Q.　どのような方に教えてこられたのでしょうか？

A.　この 9 月で(NIFA で教えて)ちょうど 10 年になりました。その間学校派遣で小中学生、ここ(中央公民館)で 20 才代から 60 才代の方に教えてきました。やはりアジア系の方、中国、フィリピン、ベトナム、タイの方が多いです。メキシコの方もいました。最近は欧米系の方も増えていますね。

Q.　ここに習いに来る方の動機は何でしょうか？

A.　一つは仕事でしょう。それから子供の学校です。子供が学校に入るとお知らせのプリントなどが読めないので日本語を習いたいという方がいらっしゃいます。

Q.　なるほど、中身を理解できるようになりたいとか？ご本人にとってみると切実な問題ですね。

A.　ええ、子どもの方が(日本語が)どんどん上手になって、親がだんだん取り残されたように感じるのでしょうね。あるお母さんは、ここへ(習いに)来ていて「今度息子が小学校に入る」と心配しているので、「大丈夫、私たちが学校に派遣されて子どもさんにも教えるから」と言って安心してもらったりしています。

Q.　年代や国によって教え方に違いはありますか？

A.　基本は同じです。最初は'ていねい体'を教えます。「何々です」とか「何々します」という言い方です。先ず誰に対しても失礼にならない、仕事に行っても失敗しない言い方を教えます。それから慣れてくると'普通体'を教えます。「何々だよ」とか「何々だ」とか、生徒たちも時と場合による使い方が分かってきます。

A.　それから来日して間もない子供達には'サバイバル日本語'を教えます。「いい、だめ、ある、ない、いる、いらない、きて、みて、きいて」といった一言の日本語です。

Q.　'サバイバル'というのは生き残り？

A.　はい、すぐ役立つ言葉です。子どもにとってはクラスに入って友達とコミュニケーションをとることがとても大事です。

Q.　簡単にこちらの意思を伝えられる言葉ですね。

Q.　日本語を教えることで得られる喜びは何ですか？

A.　日本語でコミュニケーションがとれなくても気持ちが通じた時です。

Q.　教えながらの感じですか？

A.　はい、教えている間に心を開いてくると色々な相談も受けます。そうするとこちらも応えようとします。言葉での問題も含めてこちらの経験を話したりします。

Q.　個人的な信頼関係も生まれるのですね。

A.　そうですね。

Q.　教えられる方とはどのようにコミュニケーションをとるのですか？

A.　こちらも分からない言葉の時は、外国語支援事業部の方にサポートしてもらったこともありますが、絵やカード、ジェスチャーなどを駆使します。基本は「直接法」(日本語で教える）なので相手の言語が分かりすぎるのもかえってよくないのです。ただ誉め言葉など相手の方の言語を使ったりしています。

Q.　日本語講師のご経歴は？

A.　私の主人は会社勤務の時から、定年後海外で 10 年日本語を教える目標を立て、その勉強をしていました。その後近所に住む中国の新疆ウイグル自治区から来ていた理科大の留学生と知り合い、日本語を教える機会を持ちました。その紹介でシルクロードの地、自治区の区都ウルムチの大学へ赴任しました。そこで 3 年教え、その後江蘇省の南通で 1 年、そして山東省の龍口で 2 年教えました。途中から私も正規の教師として働きました。私は 6 年の滞在後日本に戻り、NIFA に入会しました。主人は更に 4 年中国に滞在、帰国後現在まで NIFA の学校派遣で教えています。

A.　今は教え子が来日し再会できること、ウルムチと龍口の教え子同士が知り合いになったことが大きな喜びになっています。

♡ご夫妻での中国でのご経験があってのことですね。ありがとうございました。

(2017 年 10 月 4 日　西山勝)

学んだ日本語で防災体験！

日本語講座事業部で毎年実施している体験学習会。今年は千葉県西部防災センター(松戸市)へ行ってきました。当日はあいにくの雨天で、生徒の参加が予定より減りましたが、インストラクターの説明（日本語）を聞きながら、地震や火災など災害の疑似体験や、災害時の避難体験、防災対策の体験など、とても充実した一日となりました。

人形を使って肺蘇生法を体験中

◇　体験感想記　彭春紅さん　◇

私は 10 月 25 日水曜日千葉県防災センターに行きました。そこではいろんな災害対策を体験させていただきました。その中でも起震室がすごい地震の揺れで、移動する時、実際にはなかなか身体が動かないという事が分かりました。あと煙の中を移動する時や避難する時にハンカチを口に当てても息をしなければならないので、むせてしまって簡単に避難出来ないのも分かりました。安全に避難する方法を事前に学んでおいた方が良いと思いました。

また肺蘇生法も体験して、これをやる時はすごい力が必要で女性にはちょっと難しいかなと思いました。やはり知識だけじゃなくて体験して学ぶことが重要だと思いました。それに火災の消火ですけれども、消火器の使い方はやはりやってないとイザという時に使えないと思うので、今回体験することが出来て、とても良かったと思いました。中国から日本に来て自然災害(地震、台風、噴火、浸水など)が多いのを身近に感じるので、家でいろんな防災の用品を備えたり家具を固定しておいて普段から準備しておくのはとても大事だと思いました。イザという時、実際の状況を見て冷静に対応することと身を守るための優先順位を普段から考えておく必要もあると思います。

ゴーヤのほろ苦さは清涼感を演出
―　８月 31 日、京和ガス料理教室にて　―

流山、夏、とくれば“ゴーヤ”です。それほどこの街に定着した感のある食材を使った料理教室も恒例になりました。今年は’ビストロ EIZEN’の副代表をされている管理栄養士の高野翠（こうのみどり）さんを講師に、高野さんのオリジナルメニューに挑戦。

一品目は、「タイスープのセンレック」。輪切りにしたゴーヤの肉詰めを主な具材とし、センレック（タイの麺）を入れたスープ。ゴーヤの多少の苦みとスープの酸味がバランスよく混じり合い、センレックの入ったボリュームのある主菜に仕上がりました。二品目は、「ゴーヤとツナのパリパリ焼き」。薄切りのゴーヤとツナ、ホールコーン、スライスチーズを具にした春巻き。ゴーヤの割合はっきりした食感の一方、苦みはほとんど感じません。元気盛りの小腹をすかした子どものおやつ、酒の肴にも好適。三品目は、「ゴーヤの濃厚パンナコッタ黒蜜ソース」。ゴーヤを粉末状にし、抹茶とまぜてパンナコッタにしたデザート。黒蜜の甘さと抹茶プラスゴーヤの少しの苦さの混じり合いがほどよい爽やかさです。

童心に帰ったお母さんたちは作ることを楽しんでいる様子、熱気と賑やかさで教室はエアコンを随分効かせました。お父さんたちの包丁や箸さばきも見事でした。（完）※レシピをご希望の方はサロン担当小谷まで。

～韓国語サロン　冬季講座を開講します～

この夏に好評を頂いたサロンの冬季版です。

開講は、講師の小谷日果里さんの帰国期間に合わせます。

講座の内容、日程、費用、申込方法など詳しいことは後日ご案内します。

お楽しみに！

～キッズ英語プログラムの開催～

幼児から小学校低学年児童向けに、英語に楽しく触れるプログラムです！
講師はネイティブの方を予定
中央公民館まつりに出展します
2018 年 3 月 3 日（日）10：30~11：30
中央公民館　会議室
募集人数：20 名　参加費：500 円/1 名

会員の声～NIFA に思うこと～

今年の７月に文化交流事業部の皆様にお聞きしました。

Q1　NIFA に思うこと（日頃の活動に対する印象、ご意見、要望など）
Q2　その方と NIFA の関わり(入会の経緯、携わられた活動等)
Q3　ワーハモ、又は木蘭扇の魅力、継続させているものは何か
Q4　日々の暮らしの中での気づき、感じられること（世の中の動き、社会情勢、文化、スポーツ他）
Q5　趣味、愛好されていること

NO	氏名	所属事業部	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5
1	川上博美	ワールドハーモニー	国際交流の大切さは分かっていますが、自分が率先して何かをやるという積極性はありません。それは既に高齢であり、そうした任務に耐えられないと思うからです。	私が NIFA というか、ワールドハーモニーに参加したのは、１０年程前です。スペイン語に所属していて、「成果発表会」で皆さんの歌を聞いて、原語で歌う楽しさを求めて入会しました。	継続しているのは、原語で歌う楽しさを皆さんが感じているからでしょう。それと指導者や仲間が皆、良い人たちだからでしょう。	世の中ますます混沌としてきて、将来一体どうなるのだろうと危惧しています。トランプさんが米国大統領になって、（絶対ならないだろうと思っていたので）私はアメリカが好きでしたが、分からなくなってきました。	多趣味ですが、この頃は体力的に弱ってきています。それでも、音楽・読書・登山（里山程度）・旅行・水泳は続けています。
2	高橋節子	木蘭扇 英会話	NIFA については実際に入会してみて初めて知ることがたくさんありました。何より手頃な受講料で勉強ができること、これが一番ありがたいです。そして外国語を通して色々な活動をしていること、素晴らしいですし、それに関わっておられる皆様にも感謝しています	10 年ほど前から入会しています。流山市の広報で知りました。以前から英会話をやりたいと思っていたので始めました。その中で、たくさんの友人と知り合い、刺激を受けています	木蘭扇を始め 10 年ぐらいでしょうか？もともとダンスが好きなこと、知人がやっていたこと、初めて見た通りで興味があったこと、必ず何かを用意し、何より頭をとても使うので脳の活性化にもとても良いと思います	最近の世の中は とにかく目まぐるしい一言です。特に感じるのは政治の劣化です。その中で 私たちは人間としての基本を忘れず 常識を持って生活していかなければいけないと思います。	自分の時間を持っていた時は好きな DVD 鑑賞。時には舞台鑑賞など良い刺激を得て 感情をリフレッシュすることです
3	高橋洋子	木蘭扇 ワールドハーモニー	日頃の活動はよくやっていると思う。もっと会員が多かったら良い。	何も知らずに入会。国際とあったので期待した。	長い人生やった事のないことをやろうと思って今楽しんでいる。	75 年生きても人生はわからないが、感謝する事が大切で素直になりたい。日頃否定的な言葉を口にしてしまうが、使わない事が世の中が楽しくなるのでは。	趣味はたくさんあるが、孫が一番。孫の事で頭がいっぱいです。
4	伊藤靖代	ワールドハーモニー	以前流山市に在住し入会、現在は柏市在住。その間柏、我孫子松戸市国際交流にも入会し(各受講のため).組織規模や後ろ盾にうらやましくもありました。 NIFA では私自身細々ながらお手伝いさせていただきました。NPO 法人にもなり，皆様のお力で続けてこられましたことは喜ばしく思いますが、やはり若い方々や新メンバーが増えず'残念にも思います。最近フェスタで外部への PR なども行い、少しでもいろいろ知っていただける機会が増えることを嬉しく存じます。	20 数年前、NIFA 立ち上げを広報で知り、夫とともに入会しました。 当初は外国語部会(英語)の受講生として在籍、お手伝いをする傍ら中国語など立ち上げに関わり、中国語も 2016 年まで在籍し、外国語副委員長を務めました。その間，ホームステイ部会(ホストファミリー)また文化交流部会のワールドハーモニーも初期から在籍しております。	国際交流協会の合唱にふさわしく.世界の歌を原語で歌う楽しさでしょうか？カタカナはありますが、その原語に精通した方のご指導も受けられ、また指揮、ピアノ伴奏のお二方も素晴らしく、新しい曲の出会いなど.皆様とも楽しく、また発表会の時の緊張感もよい刺激です	当初，気軽に入会しましたが.こんなにも長く携わることができ.友人，仲間が沢山増えました.これも価値や興味の対象が同じものがある方々で、居心地の良さがあり、その都度.社会の動向にも話が及んでいろいろな思考を伺えて参考になります。	

寄付金受領のお知らせ

会長　小宮　陽一

長年にわたり、正会員（団体）として当協会を支えていただいている「流山中央ロータリークラブ」様から、クラブ設立３０周年を記念して、本年６月当協会に１０万円の寄付をいただきました。ここに御礼申し上げるとともに、会員各位にご報告します。ご期待に沿えるよう、更に活動の充実をはかってまいります

降雨で開店休業　～流山市民祭り～

10 月 29 日（日）は前日からの降雨で会場の総合運動公園界隈は朝から水浸し。それでも 27 日の『開催！』決定を受け、各出展者は準備に大忙し。姉妹都市のテントからは特産品のおいしい匂いが漂い始めています。

私たち NIFA は、『民族衣装を着て写真をとろう』を出展。昨年の好評を受け衣装も少し増やしました。けれども時折強く降る雨のため、やむなく衣装は数点をテント内に展示することに変更しました。

開始時間を過ぎると、来場者はそこそこ目につくようになり、何人かの方は、私たちのテント前にも足を止め、イベント写真を貼ったボードに目を留めて下さいました。

ステージでのパフォーマンスは、熱心観衆を前にして木蘭扇をはじめ、どの団体も演技に苦労していました。どのテントからも聞こえる、時折たるみにたまった雨水を落とす水しぶきの音が当日を物語っていました。

Feel the rhythm of the planet　～ FESTA 2017 ～

日時：10 月 9 日(祝)
場所：流山エルズ(流山市生涯学習センター)

おおたかの森 SC を飛び出て初めてのフェスタは木蘭扇、ワールドハーモニーの出演はもちろん、目玉プログラムもますますパワーアップしました。

今年は世界で活躍のアーティスト二組です。アクロバティックな動きを見せるブレイクダンスチーム ARIYA、力強く恰好よく見惚れました。2 組目はスティールパンバンド PAN NOTE MAGIC、ドラム缶から発展した打楽器がポップスからクラッシク、ジャズ、民謡まで、あらゆるジャンルを演奏できるレパートリーの広さにびっくりしました。

ワールドハーモニーの出演者として特筆したいのは PAN NOTE MAGIC との共演です。スティールパンの大きい音に負けないように(実際は負けていた)精いっぱい声を出して歌うことが私たちをわくわくさせました。

また、木蘭扇は鮮やかな衣装を身にまとい中国舞踊を披露しました。ウィッグもつけまつげも初めての体験（若いころの思い出かもしれない）と言ってみんなで楽しみました。　〈李　明勲記〉

外国語支援事業部部員募集

外国語支援事業部　部長　長田　麗子

外国語支援事業部では現在 9 名の部員が流山市や近隣にお住まいの外国人の方たちに必要な情報（ごみの分別方法、病院で必要な問診表、対応言語を掲載した一覧表、くらしの便利帳など）を提供するため翻訳（英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語）をしています。必要な時には外国語の通訳や外国語が分からない市民の方たちに対し、外国語の翻訳を行ったりしています。他に「外国人のくらしサポート」のメンバーとして主に英語担当の方たち５名の登録者がいらっしゃいますが、更に多くの方たちに部員としてご活躍をいただきたく部員およびサポートメンバーの募集をいたします。

会議日程

日時：毎月第２日曜日　１０：００～１２：００
場所：十太夫福祉会館　会議室　又は生涯学習センター3 階
＊12 月度部会は生涯学習センター3 階
（市民活動推進センター）第一会議室
連絡先：国際理解サポートセンター　０４-７１２８-６００７

編集後記

今回から、谷口　宏美さんに編集に加わっていただき、広報部が４名になりました。
広報部長：小谷　良美
部員：西山　勝　李　明勲　谷口　宏美